道徳通信

灯火

（あかり）

熊谷市立大里中学校
○心豊かな生徒　（学校教育目標より）
命を大切にし、他を思いやり、
夢に向かって努力する子どもたちに

第４号　　平成２５年１月２４日

言葉・文字の‘ぬくもり’

昨年末、１、２年生の国語の授業で、川柳、短歌つくりをおこないました。今回は、その中からいくつかを紹介したいと思います。ムダを省いた言葉・文字につまった生徒たちの思いを、感じ取っていただければと思います。

友達に　相談したら　落ちつくなぁ

母親に　今の歳でも　あまえたい

一のＣ　うるさいけれど　夢いっぱい

体重計　そーっと乗っても　意味がない

なによりも　人の命は　高級品

教室は　多才な才能　集まるよ！

かみを切る　気合いを入れよう　ボウズでね

うるさいと　いわんばかりの　反抗期

練習を　頑張る証の　肌黒だ

ゴミ捨ては　男子にたのむよ　「おねがいね」

春になり　桜が咲くと　二年生

協力で　長縄がんばり　四十六

春になり　桜が咲くと　二年生

「サザエさん」　今年ですでに　六〇年
いまだに老けぬ　不死の大家族

だれだって　一つはとりえが　きっとある
それに気づくは　努力した時

まちどうしい　スキー林間　たのしそう
たのしいなかまが　ポポポポーン

母の愛　厳しい中にも　優しさが
いつも私を　包んでくれる

いくにちも　あきれながらも　背中押す
母の心に　かんしゃあらん

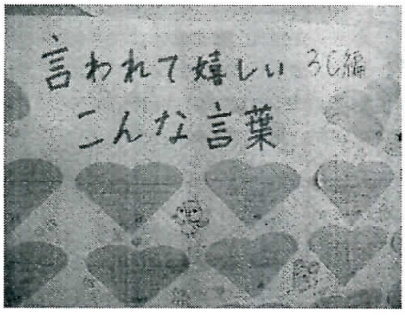
好きな人　想いとどかず　たかねの花
告白できず　通りすぎる日

だれだって　弱い心は　きっとある
それがあるから　強くもなれる

週末の　六時間目は　上機嫌

消費税　上がれば下がる　おこづかい

同じく昨年末から、廊下等の壁に写真のような掲示物が掲示されるようになりました。「言われて嬉しいこんな言葉」というテーマのもと、すべての学級が取り組み、掲示することになったようです。



他人から言われて嬉しい言葉として、やはり**‘ありがとう’が圧倒的に多かった**ようです。その他として、‘大丈夫？無理はしないでね’‘一人でかかえこまないでね’‘一緒に帰ろう’などが紹介されていました。

それら言葉の奥には**“相手を理解した上での言葉がけ”“他人に認められた安心感”**が感じられるのではないかと思います。相手を無視し、傷つける言葉が横行している今の社会（学校もそんな社会の縮小版、決して他人事ではありません）、せっかくならば、心穏やかに日々の生活を送っていきたいものです。

お互いを理解し合う努力を重ねながら・・・・・。

『 岸 先生をお迎えして 』

今講演会のねらい

児童生徒に命を大切にする心や夢に向かい希望と勇気をもってやり遂げる態度を育てるために、スポーツ選手や芸術家などそれぞれの専門分野の第一線で活躍する社会人を招き、その生き方にふれる講演会事業を通じて、子どもたちの豊かな心をはぐくむ道徳教育を推進する。　（「平成２４年度　夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業」実施要項より）

今回、本校の学校教育目標でもある「心豊かな生徒」に合致する県の事業を頂き、パラリンピック出場の岸先生をお迎えし、話を聞くことができました。

主に、競技のこと、パラリンピックのこと、またそれ以外のご自身の体験についても話をされ、**‘夢を持ち続け努力することの大切さ’**、**‘困難に立ち向かっていく勇気の重要性’**、そして何より、全体を通して「生きていればこそ・・・」の**‘命の大切さ’**をも感じ取ることができる講演会となりました。

ここで、生徒たちの感想をいくつか紹介したいと思います。

『今日の夢と豊かな心をはぐくむ講演会の岸先生の話を聞いて、私は、パラリンピックは知っていましたが、ウェルチェアーラグビーは知りませんでした。だから、ウェルチェアーラグビーのルールなどを知れてよかったです。また、オリンピックでロンドンに行った時の写真を見せていただいて、その写真についてのくわしい説明までしていただいて、とてもわかりやすかったし、オリンピックパークはとても楽しそうだったし、岸先生が言っていたように自分と同じ障害を持っている人が、たくさんいて、その人達は自分と同じようなやみや苦しみをあじわって今ここに立っている、という言葉に感動して、すごく心に残りました。』（１学年女子　原文のまま）

『交通事故でケガをして、どんな苦しい困難も乗り越えてきた岸さんは、とても心が強い人だと思います。もし、私が岸さんのようにケガをして、手や足があまり使えなくなったとしたら、生きる希望をなくして、ただ生きているだけの人間になるかも知れません。でも岸さんは、懸命にリハビリをして、自分に合うウェルチェアーラグビーという競技に出会い、世界で戦っています。私は、そんな岸さんのような強い人間になりたいです。そして、これからもパラリンピックを目指して、今年よりも良い結果が残せるように、頑張って欲しいです。』（１学年女子　原文のまま）

『今日、岸先生のお話を聞いて、たとえ体が不自由になってしまったとしても、あきらめずに、いろいろなことに挑戦し、努力すれば、だれだって結果は残せるということがわかりました。また、戦う人は、コートの中でプレーする人だけではなく、影でささえるアシスタントの人も一緒なんだなと思いました。ぼくも運動部に入っています。これから、新しい１年生もはいってきて、ぼくたちも３年生になるので、６月にむけて、けっしてあきらめず、ベンチでも、応援を全力でがんばりたいです。』（２学年男子　原文のまま）

『ウェルチェアーラグビーは、さいしょきいたことがなくて、どういうのかな？と思っていまいした。そして、今日岸先生のはなしを聞き、ルールややりかたを、知りとても、わかりやすかったです。そして、ぶつかりあったりととても大変だと聞き、いたそうだなーとか、イヤだなーて気持ちがありました。しかし、そんなことをしっていながら、がんばってる岸先生は、すごいなと思い、そんけいしました。岸先生は、事故が起きてから、時間はかかりましたがここまでの人になり、なので、今年私は受験生なので、私もさらなる上をめざして、がんばろうと思いました。』（３学年女子　原文のまま）